

# 5G電波伝搬

～ 5G実現へ向けた高周波数帯電波伝搬特性の解明～

次世代移動通信5G実現に向けて、高周波数帯電波伝搬特性の解明の取り組み及び5Gシステム評価用チャネルモデルの策定をするための標準化推進活動を紹介

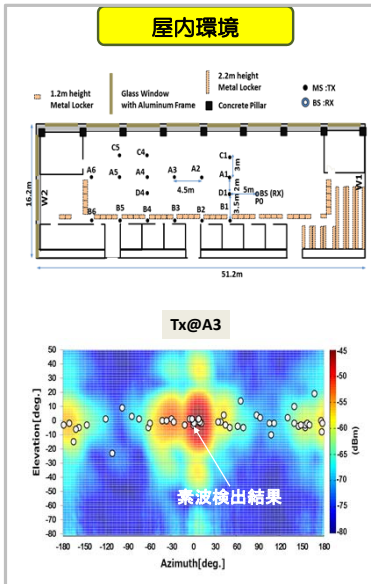
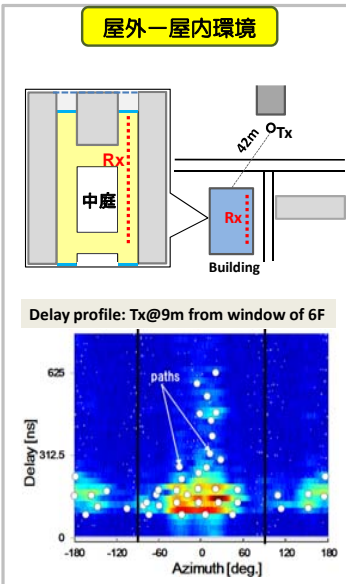
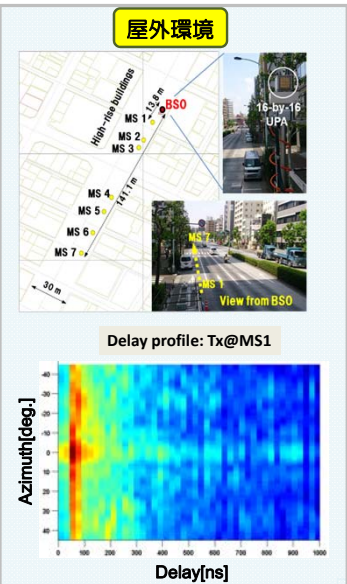
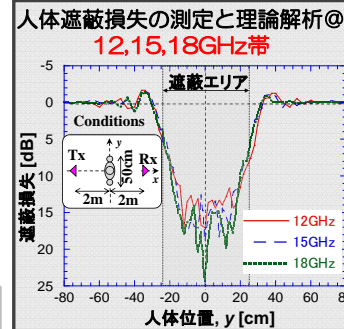
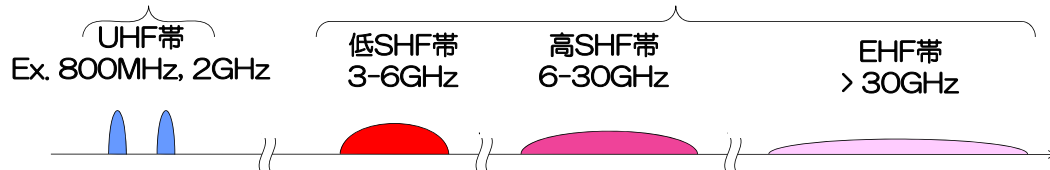


## 特長

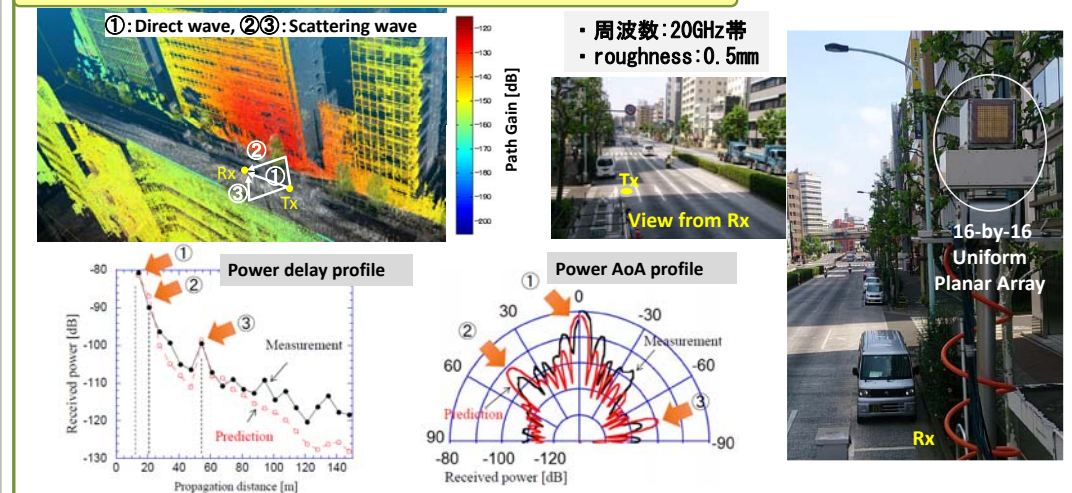
- 様々な環境における高周波数帯電波伝搬特性（伝搬損失・遅延・到来方向・人体遮蔽・粗面による影響等の特性）の検討
- 検討結果をもとに5Gシステム評価用チャネルモデルの提案を行い標準化（3GPP, ITU-R等）を推進

既存周波数帯

高周波数帯における広帯域幅利用



ポイントクラウドデータとERモデルを用いた散乱波の電力の推定結果



● 3GPP RAN 1 参加・5G Channel Model の策定に貢献（2016年6月完了） ● ITU-R SG5へ検討結果の入力・チャネルモデルの策定に貢献（2017年6月完了予定）

～～謝辞～～ 本資料には、総務省からの委託を受けて実施した「第5 世代移動通信システム実現に向けた研究開発」の成果の一部が含まれている。